

# 議会だより

2008.11.4

発行：福島県西会津町議会

編集：議会広報特別委員会

## にしあいづ No.103

一般・特別会計歳出決算95億8992万円を認定  
ケーブルテレビ伝送路のオール光ファイバー化工事始まる

P2

P5



わっしょい！わっしょい！初めての試み、宿場文化まつり開催

## 9月議会定例会

- 9月議会定例会の内容は・・・・・・・・・・・・・2
- 平成19年度決算を認定！財政健全化判断比率は基準値内・・・・・・・・・・・・・2
- すわ保育所はテレワークセンターの2号館に・・・・・5
- 常任委員会が管内の事務調査を実施・・・・・・・・・・・・・6
- ここが聞きたい！一般質問8人が登壇・・・・・・・・・・・・・7
- 秦千代栄さんら教育委員3名の任命に同意・・・・・・・・・・・・・11
- この人にインタビュー！農家民宿を始めた佐藤ミヨ子さん・・・・・・・・・・・・・12

た歳出

# 万円を認定!!

前年度比3.1%増  
黒字2億3276万円

## 財政健全化判断比率等は基準値内

町税

## 納税意識の改善を



平成19年度に完成した町道野沢柴崎線橋立1号橋

9月定例会は、9月7日から24日までの13日間の日程で開催されました。平成19年度一般会計・各特別会計決算の認定と、平成20年度補正予算、請負契約の締結、財産の取得、教育委員会委員の同意など31議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

滞納総額 2893万円  
不納欠損額 363万円

### 平成19年度末借金残高

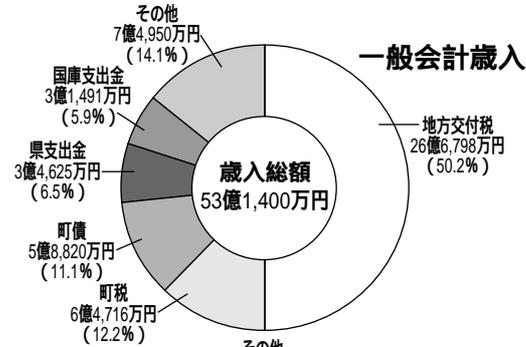
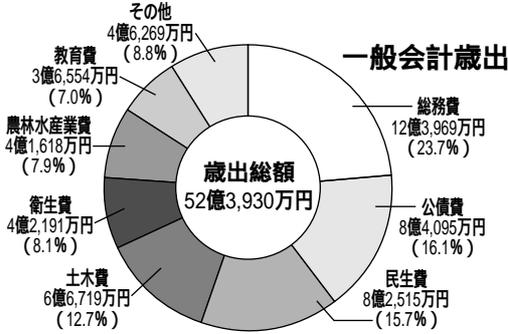
一般会計は70億7686万円  
特別会計は33億5572万円

### 平成19年度の財政健全化判断比率等の状況

⇒ 財政健全化判断比率等は夕張市の破綻を機に、平成19年度決算からその算定と公表が義務付けられた。平成20年度決算からは基準値を超えると財政健全化計画等を策定しなければならない。

財政指標名	比率(%)	早期健全化基準値(%)	説明
実質赤字比率	-	15.0	普通会計(一般会計等)の実質収支の赤字の割合を表す指標。本町では、実質収支は黒字であり、赤字ではないので比率は表示されなかった。
連結実質赤字比率	-	20.0	町のすべての会計(一般会計・特別会計・水道事業会計)を合算した実質収支の赤字の割合を表す指標。本町では、その実質収支は黒字であり、赤字ではないので比率は表示されなかった。
実質公債費比率	18.2	25.0	町の会計や喜多方広域市町村圏組合等一部事務組合の借金返済額のうち、町が負担した額の標準的な1年間の収入額に対する割合。過去3年間の平均で算出する。基準値内にある。ただし、18%以上なので借金をするのに県知事の許可が必要となる。
将来負担比率	202.9	350.0	町の会計や一部事務組合、第3セクターの借金等のうち、町が負担しなければならない分を含めた将来返済しなければならない借金総額の標準的な1年間の収入額に対する割合。基準値内にある。
資金不足比率	-	20.0	水道や下水道事業、宅地造成事業の資金不足の割合を表す。資金不足はないので比率は表示されなかった。

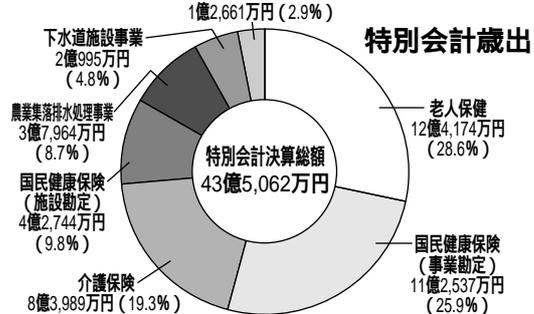
# 95億8992



町民(8,258人)一人当たりの主な使い道(一般会計)

商工費	5,653円
土木費	80,793円
消防費	23,707円
教育費	44,265円
公債費	101,834円
議会費	9,964円
総務費	150,120円
民生費	99,921円
衛生費	51,091円
農林水産費	50,397円

合計: 634,451円



平成19年度決算の概要

**総括**  
(一般・特別会計)  
平成19年度一般会計及び特別会計の決算書等に記載された数値に誤りはなかった。  
一般会計と特別会計(10会計)を合わせた決算額は、歳入総額で98億2501万円(前年度比30%増)、歳出総額で95億8992万円(前年度比31%増)となり、歳入歳出とも前年度を上回る決算となった。

廣瀬渉代表監査委員

9月定例会では、廣瀬渉代表監査委員から、平成19年度の決算審査の結果について次のとおり報告がありました。また、財政健全化判断比率等の数値についても誤りが無い旨報告がありました。

## 監査委員決算報告

**一般会計**  
決算額は、歳入が53億1400万円、歳出は52億3930万円となった。歳出の執行率は90%となっており、予定した事業はおおむね計画どおり執行された。  
課題である町税の収入未済額は、2893万円である。不納欠損額(債権を放棄した額)は363万円であった。税の公平性からも滞納や不納欠損のないよう、徴収に一層の努力をされたい。

財政調整基金(貯金)は2億6796万円ある。一方、平成19年度末の一般会計と特別会計を合わせた町債(借金)は、104億3258万円あった。19年度の借金返済額は11億1589万円である。そのうち7億128万円、返済額の62%は交付税措置がされている。

**水道事業会計**  
経営成績等の数値に誤りはなかった。  
経営成績では522万8千円の利益が生じ、黒字決算となった。有収率(造った水に対する使われた水の割合)は79.87%である。  
配水管には、石綿管が使用されており、老朽化が進んでいるので、今後計画的に改善されるよう望む。

**特別会計**  
特別会計(10会計)の予算執行状況は、おおむね計画どおり執行された。特別会計全体の収入未済額は4698万円である。そのうち最も多いのは、国民健康保険税であり、4303万円(1882件)となっている。徴収に一層の努力をされたい。  
住宅団地造成事業では、一区画売却され、19年度末の未売却区画数は20区画となった。

# 行財政運営をチェック

## 平成19年度自立のまち決算総括

### 決算質疑

#### 一般会計

**議員 経常収支比率をみると、財政状況は厳しいと感じる。町債(借金)で金利5〜7%の政府系資金がある。この繰上償還はできないか。町は自立の道を歩んでいるが、財政的にやっていると聞ける。このことについて町の見解は。**

#### 総務課長

本町の経常収支比率は93.3%であり、現在他のほとんどの町村は90%を超えている。金利7%の町債は平成20年度で終了する。政府系資金の繰上償還は制度上難しい。財政健全化比率は、一応健全化基準の範囲内である。長期的にも悪化しないように努力したい。

**議員 収入未済や不納欠損額が多い。どんな対策を講じてきたか。不納欠損処分について、監査委員の見解は。**

#### 総務課長

税や料金については、担当者連絡会議で対応してきたが、今後新たな組織をつくって対応する。

#### 監査委員

不納欠損処分については、その内容を詳しく監査した。その結果、やむを得ないと判断した。

**議員 町長交際費は100万円の不用額がでた。他町村より予算が多いこともあり、今後減額すべきではないか。**

#### 総務課長

町政の執行上、必要な予算であり、不用額は努力の結果である。

**議員 耐雪型パイプハウスの個人負担額、これまでの導入棟数、農家所得への効果は。**

#### 経済課長

個人負担は、リース料として1棟年3万3000円で、これまで62棟設置した。年間生産額は4430万円であった。

**議員 町史編さん業務が遅れている。原稿執筆**



パイプハウスでミネラル栽培

**者の都合と聞くが、発刊の見通しは。**

#### 教育長

執筆者4人中1人の方の体調が悪いため、原稿がそろわない。直接面談するなど対応している。早期に発刊できるように最大限努力したい。

**老人保健**

**議員 被保険者の動向と医療給付費減少の理由は。**

#### 健康福祉課長

被保険者数は75歳以上の方1975人で、平成18年度と比較して109人減少している。このため、医療給付費が減少している。

#### 特別会計

**商業団地造成事業**

**議員 1680万円の黒字決算となっている。これをなぜ一般会計に繰**

### 一般会計 決算討論

反対討論 清野 興一  
長谷川徳喜

黒字決算であるが、財政調整基金(貯金)を取り崩してのものであり、財政は厳しい。芸術村事業や振興公社への一般財源の繰出しが大きい。内容が明らかでない。産業政策での町民所得向上には努力のあとが見られない。町史の売れ残りが多く、努力が足りない。

賛成討論 清野 邦夫  
長谷沼清吉

財政が厳しい理由は、地方交付税の減額にある。このよつな中で職員数の減、住民サービスの向上、乳幼児医療費の無料化、老人福祉などで町独自の事業を行っている。予算はおおむね適正に執行された。連結決算でも健全性が保たれている。

採決の結果

賛成11、反対2で可決!

## 条例の制定と改正

テレワークセンター条例の制定とへき地保育所条例の改正

テレワークセンターの2号館を設置

尾野本保育所と統合し、休所していた「すわ保育所」をテレワークセンターとして活用するために廃止することにしました。また、テレワークセンターの管理運営を行うために新たに条例が制定されました（1号館は旧教育委員会 2号館はすわ保育所）。

## 町営住宅・定住促進住宅条例の改正

暴力団員やその関係者の入居を排除し、入居者や周辺住民の生活の平穩を図るための条例改正です。

## 平成20年度補正予算

### 一般会計

1億455万9千円増額し総額5億462万8千円に前年度決算の確定によるのが補正の主な要因で、財政調整基金（貯金）に5218万8千円積み立てし、基金の保有額が2億5812万円となることなどの説明がありました。

### 特別会計

国民健康保険特別会計

補正の主な内容は次のとおりです。前年度決算の余剰金から被保険者の負担軽減のために2000万円を減税財源に充てること、特定健診・特定保健指導を行うための費用として88万円を一般会計から繰入れすること、給付費支払準備基金（貯金）に1166万円を積立し、総額2億1252万円とすること。

### 一般会計補正予算の主なもの

#### 【歳入】

普通地方交付税	6,807万円増
地方道路整備臨時交付金	1,830万円増
電源立地地域対策交付金	380万円増
前年度繰越金	1,469万円増
辺地対策事業債（借金）	350万円増
過疎対策事業債（借金）	1,840万円減

#### 【歳出】

自動車購入費（更新）	420万円増
テレワークセンター関係費	297万円増
財政調整基金積立金	5,218万円増
住民税システム改修費	1,097万円増
国保特別会計繰出金	912万円増
町道改良舗装工事費	1,704万円増

## 入札請負契約

ケーブルテレビ光ファイバー化工事の請負契約締結

ケーブルテレビ高度化事業（オール光ファイバー化）第一期整備工事の概要は次のとおりです。

請負金額 3億1080万円  
工期 平成22年3月15日まで  
工事地域 野沢・尾野本地区（一部を除く）

## 財産の取得

西会津診療所に電子内視鏡光源装置

老朽化により、西会津診療所の電子内視鏡光源装置を新しく購入しました。価格は、95万5千円です。

## テレワークセンター 条例討論

反対討論 清野 興一

使用料に光熱費や冷暖房費が含まれている。それと多額の予算を使ってまで起業を援助することに理解ができない。

賛成討論 青木 照夫

起業家を育成することは理解できる。整備費は町が負担し、料金は今後再考してもよい。

採決の結果  
賛成11、反対2で可決！



# 総務常任委員会

## 小学校の耐震化 について調査

野沢と尾野本小の耐震診断の結果は、C、Dランク（Aに近いほど強度が高い）の判定であり、震度6強の地震で倒壊する危険性が十分ある。近年は地震が頻発しており、地震時における児童の安全確保に向けた早急な対応を図るべきと考

える。また、両校舎の建築年に照らし、今後の耐用年数を考慮するならば、耐震補強を施すよりは改築の方向で検討すべきと考える。少子化による複式学級の解消や小学校の適正配置の問題など課題が山積している中で、将来を担う児童のために、今こそ教育行政を担う教育委員会が指導的役割を果たすべきである。

## 会津美里町の 統合小学校を視察

今年度開校した会津美里町の宮川小学校を調査した。

当校は、統合が実現するまで約13年の歳月を要している。この経過について、会津美里町教育委員会は、主体的で積極的な保護者・住民への度重なる説明と合意形成に向けた推進の結果として実現されたもの」としている。参考にするべきである。



会津美里町の宮川小学校

## 常任委員会所管事務調査報告

### 環境等関連施設を調査

喜多方広域市町村圏組合環境センター

平成18年10月から始まったプラスチック製容器包装等の資源ごみの分別収集により、本町では19年度の可燃ごみの量が対前年度比63トン（4%）減少している。

今後更にごみの減量化を図るために、住民の意識向上等啓発活動に努められたい。

# 経済常任委員会



環境センター羽山最終処分場

あいづダストセンター

本施設は、柳津町にある民間の事業所の施設であるが、本町との境に位置し、不適切な管理であれば、汚染物質が本町側にも流出するおそれがあるため、調査した。

処分場は、塩化ビニールの遮水シートを二重に張り、漏水検知システムで常時監視するシステムとなっている。また、本町側の河川3ヶ所をセンターで毎月水質検査し、

公表している。

本町でも年一回独自に調査を行っている。今後も継続されたい。

### 被川山荘の管理

飯豊山の登山道にある被川山荘は弥平四郎自治区から約5kmの位置にあり、町の所有施設である。年間200人程の利用者がある。

施設は、整理整頓されていた。今後も適正な管理に努められたい。

# 町政のここが聞きたい 議員は問う 8人が登壇

## こんな質問をしました（質問順）

### 目黒一議員

町の農業振興は  
原油高騰による燃料費の対応は

### 青木照夫議員

救命救急体制の推進と広報・啓蒙活動を  
ふるさと納税制度の反応は

### 五十嵐忠比古議員

集落支援員制度について  
少子化に伴う小学校の統合は  
各集落設置の公園遊具について

### 清野佐一議員

ふるさと納税制度について  
原油高騰対策は

### 長谷川徳喜議員

耐震調査について

工業団地の将来の見通しは  
景気対策について

### 長谷沼清吉議員

新しいまちづくりについて  
小学校の耐震・統合は  
固定資産税課税明細書について

### 伊藤勝議員

交流人口の促進による町活性化の取り組み  
は  
国際芸術村事業の期待する効果と運営は  
老人福祉行政について

### 清野興一議員

条例の遵守と情報公開について  
交流事業の見直しは  
遊休施設の有効活用について

議員 総務省は、地域活性化の後押しとして、人口の減少や高齢化が深刻な集落を巡回し、地域活性化策を助言する「集落支援員制度」を導入した。本町も高齢化・人口減少が深刻化している。この設置について町の考えは。

### まちづくり政策室長

本問題は集落単位ではなく、広域的に取り組まなければ解決できないものであり、全国の市町村と連携して問題解決にあたりたい。また、そこに住む住民自らが、地域の現状と課題を見つめ直すことも重要である。

町としては、地域の実情に応じた対策を行う考えであるが、その中で集落支援員制度も検討してみたい。

問 集落支援員制度の導入を

答 広域的に取り組む

五十嵐 忠比古議員



空家となり倒壊した家屋

議員 本町では少子化により、群岡・新郷・奥川の各小学校が複式学級制度を導入している。そのような状況での教育委員会への学力向上対策についてはどう考えているか。

### 教育長

町では町単独で4名の

非常勤講師を配置している。また、学力の状況を分析するために標準学力検査を行っている。その結果を見ると3小学校の学力は向上している。統合については、適正な配置を行う方針を決定した。

# 問 ミネラル農作物の生産拡大方法は

## 答 施設園芸生産振興組合を有効活用する

### 目 黒 一 議員

議員 町では健康な土づくりによるミネラル栽培を町の農業振興の柱としてきたが、生産の拡大と販売・流通システムの確立方法は。

町長

中嶋農法によるミネラル農産物は、学校給食・福祉施設での利用や道の駅「よりっせ」での販売等、消費の拡大を図ってきた。その結果、消費者や市場から高い評価を得ており、生産拡大が急務である。本年2月に施設園芸農家による施設園芸生産組合を立ち上げ、今後より一層の生産拡大が図られると期待している。

議員 町の農業は、高年齢層で行われている。その対策として、奥川地区にあるミニライッセ

ンターを他地区にも建設する考えはないか。  
経済振興課長  
奥川のミニライッセセンターの事業主体は農協である。その必要性について

では、地域農業確立に向けた集落営農の推進、中核農家の育成、農作業受託事業の推進を図りつつ、農協など関係団体と検討していく必要がある。



リオンドール野沢店でミネラル野菜の販売開始

### 問 ふるさと納税の取り組みは

### 答 受け入れ体制は整った

### 清 野 佐 一 議員

議員 ふるさと納税制度について

(1) 取り組みの状況と受け入れ実施時期は。

(2) 寄附金の使途は特定するのか。使途の内容は。

(3) PRの方法は。  
総務課長

6月議会での条例改正により、受け入れ体制は整った。7月から「西会津町ふるさと応援寄附金」と名称を定め、町広報紙による周知やホームページの作成作業を進め



雷山公園から野沢町内を望む

議員 原油の高騰による町財政や各種事業への影響と今後の対応は。  
総務課長

財政的にも大きな影響があると考えている。既存予算の範囲内での事業執行を基本とし、予算不足の避けられない費目は、補正予算で対応する。財源は、より一層の経費節減と財政調整基金(貯金)の取り崩し等も視野に入れ対応する。

ている。現在まで1件の申し込みがあった。寄附金の使用目的は、寄附者が子育て支援、地域活性化、健康づくり、自然環境、指定しないの中から選択してもらうようにする。  
PRの方法は、これまでの作業に加え、町外在住者への周知や在京西会津会、国・県・大学等の町を応援していただいている関係者に働きかけを行いたい。

問 A E Dの設置予定は

答 公共施設への設置を順次進める

青木 照夫 議員

定である。

A E Dの操作を含めた救急救命講習会を消防署や消防団と連携して進めている。これからもあらゆる機会を通して普及啓発に努めていきたい。

議員 ふるさと納税制度がスタートしたが、今までの反応は。また、寄附はあったのか。

寄附をいただくための働きかけ等の取り組み方法はどのようなのか。

総務課長

7月から「西会津町ふるさと応援寄附金」と名称を定め、広報するための準備を進めてきた。現在、本町出身者の方などから、数件の問い合わせがある。今後は、文書での依頼等により町外在住者に周知する予定である。これまでの寄附の状況は、町内の方1名から、27万9千円の寄附をいただいている。



A E D研修会

議員 健康のまちをキーワードにしている本町では、A E D（自動体外式除細動器）の今後の設置予定はどうなっているか。また、心肺蘇生法の技術習得の取り組みはどうなっているか。

健康福祉課長

今年度、西会津中、奥川小、保健センター、さゆり公園管理棟に1台ずつの合計4台設置している。さらに町役場と公民館に1台ずつ設置する予

問 国際芸術村事業に期待する効果は

答 芸術を通じた町の活性化を図ること

伊藤 勝 議員

議員 外国人芸術家の招致は今回で4回目となった。作品の一部は、芸術村に展示してあるが、すべて一年で帰国している。今回は、フルートと尺八の演奏家という。これまでには画家や彫刻家であった。演奏家に至った経緯と期待するものは何か。また、招致は、芸術系大学や一般に募集してはどうか。

教育課長

今回芸術家として迎えたブルース・ヒューバナーさんは、アメリカ出身のフルートと尺八の演奏家で在日歴25年である。

期待する事業効果は、芸術を通じ、地方と都市との拠点として町の活性化を図ることにある。今後、美術系大学とも連携して、芸術家募集に関し、



ブルース・ヒューバナーさん

協議していきたい。

健康福祉課長

議員 町の高齢化率は41%で県内4番目に高い。敬老会参加年齢の70歳ではまだ鉄頭である。段階的に5年かけて75歳に移行すべきである。改善を求め。

昨年の敬老会をみると、70〜74歳の方では41.6%が出席と高い状況である。また、敬老会は地域間の意見交換の場として大変有意義なものであり、70歳は妥当と考えている。

問 意識改革の進み具合は

答 基本条例の手引きなどで

長谷沼 清 吉議員

議員 まちづくり基本条例の施行による意識改革と役場の組織の見直しは進んでいるか。

町長

まちづくり基本条例の内容を理解していただくため、手引きの配布や広報紙・ホームページへの掲載、講演会の開催などで意識改革を図っている。

組織の見直しについては、新たに総務税政課内に「行政管理係」を設置し、町民参加の基準づくりや行政評価・住民投票制度の検討、大課制の評価検証、行財政改革等に取り組んでいる。

議員 小学校の耐震診断の報告が義務づけられたがどう取り組むのか。

教育課長

野沢・尾野本小学校に



総合計画検討会議

加え、本年度は群岡小学校とその体育館の耐震診断を実施している。野沢・尾野本両校の結果は、耐震補強が必要なDラン

クであり、関係学校に説明した。法律の改正により、公表が義務づけられたので、町広報紙などでお知らせする。

問 耐震結果を受けてその対応策は

答 危機管理体制を強化する

長谷川 徳 喜議員

緊急地震速報の受信システムの導入も検討する。

町民情報課長

(2) 町では災害の予防や災害発生時の対応方法、復旧活動等について記載した「地域防災計画」を策定している。それに基づき対応する。

避難所の指定については安全性を十分に考慮し、その場所の周知、誘導、保護などを行う。また、「防災ガイド」を作成し防災意識の高揚を図り被害軽減に努める。

議員 物価の高騰で町民生活が苦しく、町全体の景気が落ち込んでいる。町は、景気対策をしているのか。

経済振興課長

低所得者世帯の経済的負担軽減のため、灯油購入補助の支援対策や商業者に「中小企業融資制度資金利子補給補助事業」を行っている。景気対策は、一地方自治体で対応できることではなく、国が対応すべき問題であり、今後の国の動向を見守っていく。

議員 (1) 野沢と尾野本小の耐震調査の結果は良くなかった。今後の対処方法は。

(2) 地震災害が発生した場合の町の対応は。

教育課長

(1) 調査の結果は、震度6強の地震で倒壊やその恐れのある「Dランク」であった。施設整備等の対策をするまで、各学校に避難訓練の再検討や訓練の徹底、危機管理体制の強化を指導してい



元気に遊ぶ野沢小の児童たち

問 沖縄交流事業の見直しを

答 今後も継続したい

清野 興 一 議員

議員 食生活の改善で沖縄県との交流が始まったが、一定の効果は表れたと評価する。福島空港からの沖縄便の廃止が決定したが、これを機に長期滞在型保養基地構想を含めた沖縄との交流事業を見直す考えはないか。

町長

食生活改善推進員の交流については、日本一長生きの食文化に触れることにより、意識の向上と地域活動の活性化を図っている。長期滞在型保養



沖縄県宮古島市の食改さんとの交流

基地構想は、本格実施に向け評価・検証をしているところである。両事業とも、今後も新潟空港を利用するなどにより継続したい。

議員 コテージ管理棟

やフレンズワールド管理棟は現在遊休状態である。食品加工場などに使用させる考えはないか。

経済振興課長

加工施設にするためには、設備を整え、加工施設の許可を取る必要がある。また、そうした場合、飲食店としての営業に支障が生じてくることになる。フレンズワールド管理棟については、民間に飲食店のテナントとして貸し出す考えはある。

# 請願陳情

9月定例会において、次の請願2件、陳情1件を採択しました。  
また、次の意見書4件を内閣総理大臣等政府関係機関などに提出しました。

## 採択した請願・陳情 (敬称略)

国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書の提出について

請願者 食とみどり、水を守る会津地区労農市民会議議長 小川右善

燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰への対策を求める請願

請願者 会津農民運動連合会会長 佐藤弘之

現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・

子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情書  
陳情者 福島県保育連絡会世話人代表 大宮勇雄

## 提出した意見書

国の責任による森林整備の推進と林野事業の健全化を求める意見書  
提出先 内閣総理大臣・農林水産大臣ほか

燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰への緊急対策を求める意見書  
提出先 内閣総理大臣・農林水産大臣ほか

現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書  
提出先 内閣総理大臣・厚生労働大臣ほか

新たな過疎対策法の制定に関する意見書  
提出先 内閣総理大臣・総務大臣ほか

## 山口岩男さんの特別功労表彰に同意

9月定例会で議案となつた町特別功労表彰者の同意について、前町副町長の山口岩男さん(下野尻)の決定に全会一致で同意しました。



山口岩男さん (下野尻)

## 教育委員の任命に同意

9月定例会で議案となつた任期満了による教育委員会委員の任命について、次の方々の任命に全会一致で同意しました。



矢部征男さん (松峯)



伊藤てる子さん (6町内)



秦千代栄さん (さゆりが丘)

# インタビュー

このコーナーでは、各方面で活躍されている町民の方々をインタビューを通して紹介します。

今回は、西会津町で初めて農家民宿を始められた佐藤ミヨ子さん(極人)です。

農家民宿を始められたと聞きました。いつ頃から始められましたか。

今年の6月からです。奥川健康マラソン大会の参加者が初めてのお客さんでした。

始められたきっかけは何ですか。

調理師免許を持っていましたし、旅館やそば屋で働いていたこともあり、前から興味を持っていました。最終的には、西会津口一カルフレンドの仲間の後押しで決めました。



農家民宿は楽しいと話す佐藤ミヨ子さん

## プロフィール

住 所：奥川極入  
家 族：夫・息子  
趣 味：山菜採り

お客さんはどのような方が多いのですか。

山菜料理を食べたいとか山遊びや登山の方です。インターネットを見て宿泊されています。若い人や遠くの方が多いですね。

宿泊代はいくらですか。

1泊2食付きで6000円です。

農家民宿をやってみて楽しいことや苦労することは何ですか。

お客さんと会話するの

は楽しいですね。喜んで帰ってもらえるとすごくうれしいです。夫も協力的です。特に大きな苦労はありませんが、ヘルパーの仕事もしているので日程調整は難しいです。

これからの目標は何ですか。

始めたばかりなので、1人でも多くの人に来てもらうことです。

ご協力ありがとうございました。ご活躍を期待しています。

(武藤)

# 議会の動き

## 本町で会津耶麻町村議会議員研修会開催

去る9月26日、会津耶麻町村議会(西会津町・北塩原村・猪苗代町・磐梯町)議員研修会が本町の道の駅「よりっせ」で開催された。この研修会

は、それぞれの町村の持ち回りで毎年開催されている。

研修会では、県会津地方振興局の森合正典局長が「会津耶麻地域の振興について」と題し、県の耶麻地域における取り組みに関して講演が行われた。

その後、講師を交え、交流会を行い、お互いの町村等の情報を語り合い、知識と親睦を深めた。



最前列で聴講する西会津町の議員

# 編集後記

収穫の秋、農家にとって喜びもひとしおである。

しかし、昨今の輸入汚染米の騒動は、消費者や農家に大きな打撃を与えた。一部悪質な業者によって汚染米と知りつつ食料用として不正転売し、利益を得た。老人施設や学校給食にも提供された。まったく言語道断である。減反農政で米余りと輸入米の現実に農家は未だに困惑している。

今年の県内の作況指数は103と平年並み。県の減反率は全国ワースト1位という。低迷する米価、米しか作れない高齢化の実態や転作への課題もある。安心・安定的な農政、国の食糧自給率の向上で本当の収穫の秋を喜びたいものである。

(伊藤 勝)

編集委員 伊藤 勝  
委員長 荒海 清隆  
副委員長 目黒 剛

委員 多賀 剛  
委員 武藤 道廣

# にしあいづ議会だより

No. 103

発行 福島県西会津町議会  
編集 議会広報特別委員会

〒969-4495 福島県耶麻郡西会津町野沢字下小屋上乙3261  
☎0241-454537